

北沢の不法投棄の 解決に向けて (31)

昨年度、町と県では馬頭最終処分場についての、町民の皆さんの疑問にお答えし、ご意見やご要望をお伺いするため相談窓口（4月から9月までは週1回、10月から3月までは月1回）を開設しました。

今回は相談窓口で、皆さんからいただいた意見の一部をお知らせします。

Q 「風評被害が出て農作物等が売れなくなるのが心配だ」

A 風評被害はあつてはならないものと考えていますので、馬頭最終処分場では、風評被害が出ないように、処分場の安全性の確保と周辺環境の保全に万全を期すため、多重安全システムの考え方を取り入れ、安全で安心できる全国のもデルとなる施設を目指しています。なお、県と町が締結した基本協定では「万一、風評被害を含む被害が生じた際は、県は責任をもって補償する」としています。

Q 「粉塵等の被害が心配だ」

A 廃棄物を搬入するトラックの荷台には、必ずシートで覆うなどの対策を行い、廃棄物が飛散しないようにします。また、廃棄物を埋め立てる

際には水をまいたり、その日のうちに土を覆いかぶせて、廃棄物の飛散を防ぎます。更に、強風時には埋め立てを行わないようにします。

Q 「有害物質が入れられてしまわないか心配だ」

A 馬頭最終処分場では、受け入れ基準に適合しない廃棄物の搬入を防ぐため、廃棄物を受け入れるときに書類の審査を行うほか、搬入廃棄物の目視検査を行います。また、必要に応じて展開検査や分析検査を行い、受け入れ基準に適合しているかどうか確認します。

Q 「処分場は地域のイメージダウンになる心配があるので、地域の発展になるような事業を展開して欲しい」

A 基本協定の中で「県は処

分場建設受け入れを契機とした、町が行う『環境と共生するまちづくり』について最大限の支援を行う」としており、現在、県と町では地域の活性化につながるような事業を検討しています。

町民の皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後、だれもが安心・安全だと思える処分場建設を推進するため、政策に反映させていきたいと考えています。

なお、先月号でお知らせしたように、今年4月、馬頭処分場整備室の那珂川分室が山村開発センター3階に開設されたことから、相談窓口については、今年度から分室で対応しています。

最終処分場視察参加団体募集

視 察 先	埼玉県環境整備センター（埼玉県寄居町）エコフロンティアかさま（茨城県笠間市）他
対 象 者	那珂川町に住所を有する団体、グループ、個人
申し込み	環境整備対策室 ☎0287-92-1110

7月3日(木) 県の施設を見る「県民バス」参加者募集

●コ ー ス 栃木県南那須庁舎 ⇒ 窯業技術支援センター見学 ⇒ 道の駅はがロマンの湯（昼食）⇒
8:30発 9:30~11:00 11:30~12:50

栃木県庁見学 ⇒ 栃木県南那須庁舎
13:30~15:30 16:30着



●参 加 費 無料（昼食代は各自負担）

●募 集 人 員 40名

●申 込 方 法 1枚のハガキで2名様まで申し込みできます。往復ハガキに、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記へお申し込みください。応募者多数の場合は抽選とし、6月20日（金）までに通知します。

●申 込 締 切 6月17日（火）当日消印有効

●そ の 他 今年度は、那須烏山市並びに高根沢町と合同になりますので、参加を希望する方は早めに申し込んでください。また、今後、10月30日（木）実施〔見学場所（パルティ・栃木県消費生活センター、栃木県庁）〕の2回目の募集があります。詳しくは県北県民センターホームページをご覧ください。

●申し込み・問い合わせ 〒324-0056 大田原市中央1-9-9

栃木県県北県民センター「県民バス」係 ☎0287-23-1555

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/kenhokukc.html>

「どんな人にも」

新学期が始まって、約1カ月が経ちました。

お父さんお母さんは、我が子の成長が誇らしく喜ばしいと同時に、子どもが新しい環境に対応できているか、色々心配したことでしょう。大人も子どもも、知らず知らずのうちに溜まった心身の疲れが出やすい時期です。

特に子どもは、悩みなどがあってもうまく自分の気持ち表現できず、身体や行動の



サインとなって現れる場合があります。普段より子どもの様子を注意深く見てあげたいものです。

そして、何よりも、お子さんの話を最後まで聞いてあげること、子どもの心に寄り添ってあげることが一番大切なことではないでしょうか。

SOSのサイン

からだ：腹痛、吐き気、下痢、食欲不振、頭痛、倦怠感など
 行動：過食、拒食、指しゃぶり、爪かみ、ヒステリーなど



最後に、お子さんにとってかけがえのない存在であり、日ごろ子育てに奮闘しているお母さん方に詩を贈りたいと思います。

やはり、お母さんは偉大です。

「どんな人にも」

立原えりか

どんな人にもお母さんがいる
 総理大臣にもおすもうさんにも
 天才数学者にも芸術家にも
 スーパースターにもシャチャヨーにも
 恋人をさがしている娘にも
 トラックの運転手にも
 泣きわめく子どもにも
 フローシャにもチカンにも人ごろしにも
 お母さんがいる
 花屋のおじさんにも
 死にかけているおばあさんにも
 はじらいを忘れはてた女にもかならず
 お母さんがいる
 どんな人にも
 いい子になってねと願いつづけ
 しあわせになってねといのりつづける
 お母さんがいる

「一編の詩があなたを強く抱きしめる時がある」
 水内喜久雄・編 から



生涯学習課で

は「家庭教育」という言葉を使っています。家庭（母親）だけに子育てに関する責任を押し付けるのではなく、社会全体で補っていくことが大切だということを念頭に、今後の事業を展開していきたいと考えています。

地域の皆さんも、子育て中のお母さん・お父さん方を温かく見守って下さい。

問い合わせ

生涯学習課

0287-

92・2897

火災は「いかに早く気付くか」が重要です！

あなたの家では、もう取り付けましたか？住宅用火災警報器！！

まだ取り付けしていないお宅では、平成21年5月31日までに必ず取り付け下さい。不適正な訪問販売に、十分ご注意下さい。消防職員が住宅用火災警報器を販売したり、特定の業者に販売を依頼することは絶対にありません。

問い合わせ 消防本部予防課 ☎0287-82-2009
 馬頭分署 ☎0287-92-2800
 小川分署 ☎0287-96-2188

